

GoProで撮れる！ 魅惑の映像作品と機能



✔ 4K、5Kで大自然の雄大さをそのままに

GoPro HERO9 Blackは最大5K、HERO8 Blackは最大4Kの解像度で動画の撮影ができます。小さいボディーで本格的なビデオカメラと同等の解像度が得られるのはGoProの大きな魅力。広大な風景も隅々まで精細に撮影することができます。



✔ マウントを活用してその場にいるような臨場感を演出

撮影シーンによって使い分けられる豊富なマウントがラインナップ。視線に合わせてGoProを装着し撮影すれば、まるで自分がその場にいますかのような臨場感を演出できます。両手をフリーにできるため、アクティビティに影響を与えません。



✔ 水上や雪上でも安心な防水性と耐久性

優れた防水性と耐久性を備えているGoPro。海水や雪にも耐えられるので、海やゲレンデでも安心して撮影できます。



HERO9・HERO8の各部名称と役割を確認しよう

HERO9とHERO8の各部名称を確認しましょう。GoProはボタンの数や操作のステップが少ないので、機械に抵抗のあるユーザーでもスムーズに操作できます。スクリーンには、撮影モード

やバッテリーステータスがアイコンで表示され、設定がひと目で確認できます。HERO9とHERO8のボタンやライトの配置はほぼ一緒です。ここではHERO9を元に解説します。

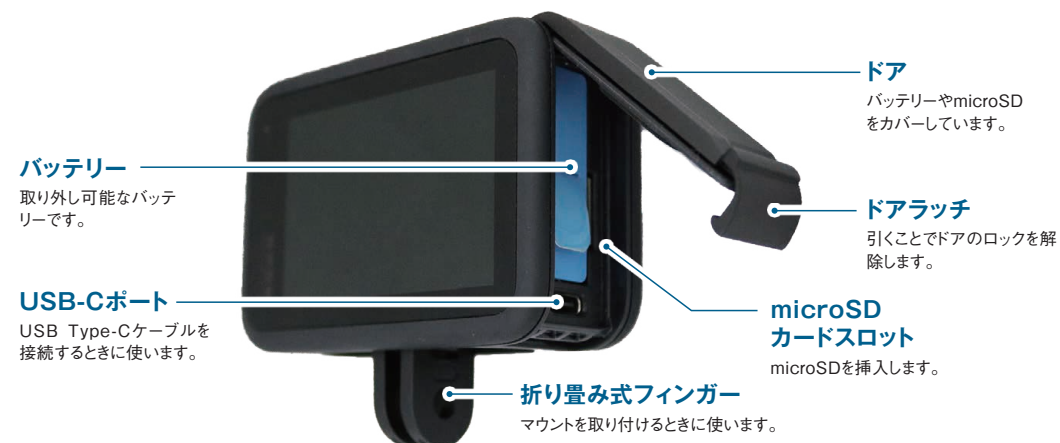
前面・上面



背面



側面



》タッチスクリーンの表示内容

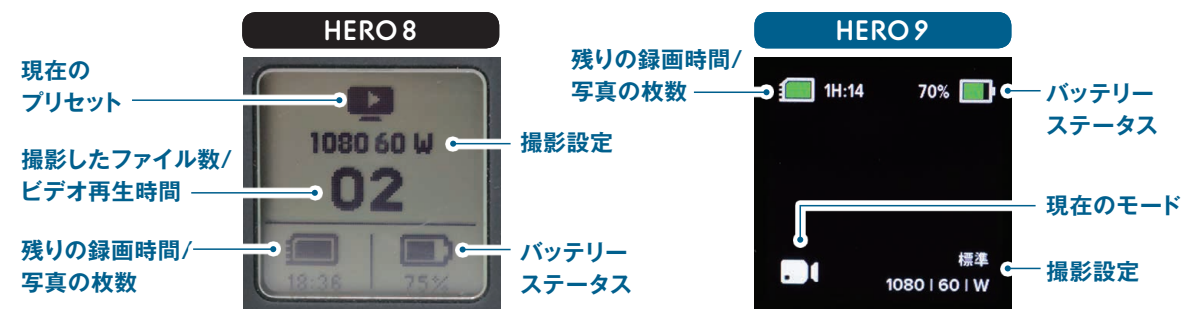
タッチスクリーンには被写体が映し出されます。指でタップやスワイプして、撮影モードや設定を変えることができます。



》前面スクリーンの表示内容

HERO8 には前面にステータススクリーンがあり、プリセットやビデオ再生時間などが表示されます。

HERO9 の前面スクリーンには、ライブビューと一緒に各ステータスが表示されます。



ザ・ストラップ

腕または手首に取り付けるマウントです。GoPro の向きを 360° 変えられるので、自分の姿を至近距離で臨場感たっぷりに撮影することも可能です。ストラップ

① 手首を通す



手首にストラップを通します。



② 上側のバンドをとめる



上(左)側のバンドをとめます。位置などにあたりをつければ、この段階ではそこまできつく締める必要はありません。

③ 下側のバンドをとめる



下(右)側のバンドをとめます。撮影中にずれないように、ここではきつめに締めます。



④ カメラの向きを決める



マウントの基部にあるダイヤルを調節して、カメラの向きを決めます。

Chesty (チェストマウントハーネス)

上半身に取り付けるマウントです。胸の位置で簡単にハンズフリー撮影ができるので、バイクやスキーなど両手を使うスポーツでも安心して撮影できます。GoPro を取り付ける部分は、クッション性に優れた

通気性素材で、長時間の撮影でも快適な装着感です。ハーネスを調節すれば厚手の防寒服の上からでも着用できます。

① ハーネスを広げる



両手でハーネスを広げ、腕を通しやすいようにします。



② 肩に通す



ベストを着るように肩に通します。

③ バックルを固定



前面の胸の部分にバックルをカチッと音がするまで差し込みます。



④ GoProを装着する



GoPro を装着してセッティング完了です。引っ張っても外れないか撮影前に確認しましょう。

撮影前に知っておきたい基本機能

GoProの構造とマウントの役割をおさえた次は、いざ撮影へ。すぐにGoProを持って撮影に行きたいというユーザーのために、これだけは知っておきたい基本的な機能を解説します。

》フレームレートを使い分ける

動物やスポーツなど動く被写体を撮影するときには、フレームレートがポイントになります。フレームレートとは、1 秒間に何コマ撮影するかを表すもので、単位は「fps (frames per second)」で表記されます。そのためフレームレートが高ければ高いほど 1 秒間に撮影されるコマ数が増え、よりなめらかな動画になります。フレームレートが

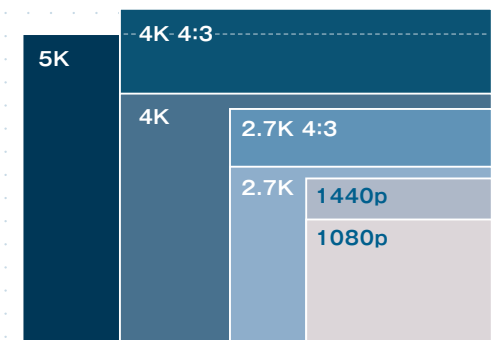
低いとカクカクとした印象を与える動画になるため、動きの速い被写体には特に注意が必要です。基本となるフレームレートは 30fps です。通常の動画であれば 30fps で問題ありません。動きのすばやいスポーツやスロー映像を作成したい場合には、それ以上のフレームレートに設定する必要があります。



》解像度を使い分ける

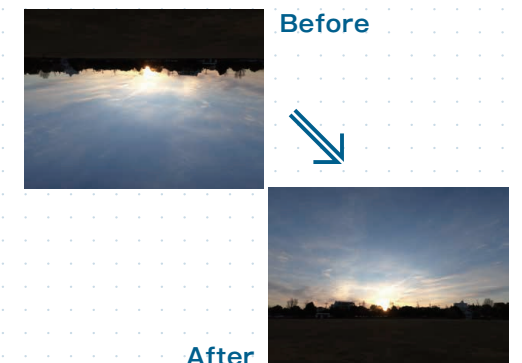
解像度とは画像を構成する画素（ピクセル）の密度を表しており、解像度が高いほど鮮明な動画になります。HERO9 は 5K (5120 × 2880 ピクセル)、HERO8 は 4K 4:3 (4096 × 3072 ピクセル) が上限ですが、一般的な撮影であれば 1080p (1920 × 1080 ピクセル) でも十分です。解像度が高いほど精細な動画になりますが、その分データ量も大きくなり、対応するフレームレートにも制限が出てきます。

解像度の比較



》上下反転を活用する

GoPro は上下を逆さにしても撮影できます。例えば自転車のハンドルに GoPro を固定する場合、GoPro を逆さにして取り付けた方が安定する場合もあります。そのようなときは、方向ロック (P.27) をオフにしておけば、GoPro がカメラの向きを認識して上下が反転していない動画を撮影できます。



動画の「解像度」はシーンで使い分ける

ここでいう解像度とは、動画の1コマを構成する画素（ピクセル）数を表しており、解像度が高いほど鮮明な動画になります。HERO9では5K（5120×2880ピクセル）HERO8では4K 4:3（4096×3072ピクセル）まで対応しています。解像度が高いほどデータが大きくなります。microSDの容量を圧迫するので撮影時間や被写体に応じて使い分けましょう。解像度が高くなればフレームレートが制限されるた

め、動きが激しいスポーツなどを撮影する場合には、フレームレートを高めに設定できる1440pや1080pで撮影しましょう。5Kや4Kに適しているのは風景動画など、動きが少なくて精細な画を求めるシーンです。解像度が高いほど、遠くも精細に映すことができるため、奥行きのある空間を撮影する場合にも適しています。ただし5K・4K動画を出力できる機材は限られているので、出力するときのことも考慮して設定しましょう。

1080p



SNSなどにアップする場合には十分な画質です。拡大すると若干粗く見えます。

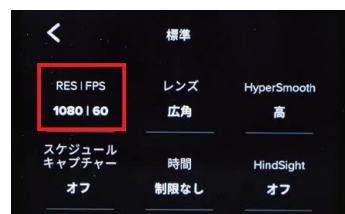
5K



大きなモニターに出力するのに適している画質です。拡大しても高精細な動画であることがわかります。

本体の操作手順

1 [RES] を選択



撮影画面下部の[撮影設定]から設定画面を開き、[RES | FPS]をタップします。

2 選択



上部に表示されている解像度の中から、任意の解像度をタップします。右側に[4:3]と表記されている解像度ではアスペクト比が4:3に、それ以外では16:9に設定されます。

アプリの操作手順



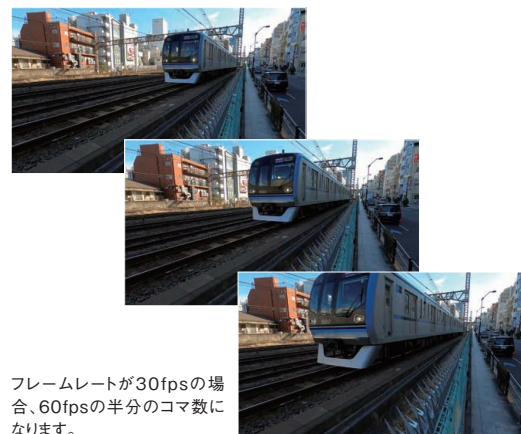
プレビュー画面下部の[撮影設定]から設定画面を開きます。[解像度]をタップして任意の解像度を選択します。

「フレームレート」で動きをなめらかにする

フレームレートは1秒間に撮影するコマ数を表しています。フレームレートが30fpsは1秒間に30コマ、60fpsは1秒間に60コマ撮影します。フレームレートが高いほど動きがなめらかな動画になります。反対に、フレームレートが低すぎると動きがカクカクして見えてしまいます。フレームレートも解像度と同様に数値が大きくなるほどデータが大きくなります。データが大きくなれば、パソコンへの転送や動画のアップロードに時間が

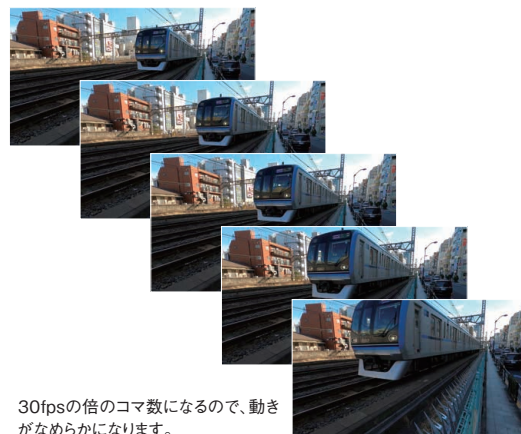
かかってしまうので、考慮して設定しましょう。なめらかな動画だと認識できるフレームレートの基準値は30fpsです。それ以上のフレームレートは大画面での再生や、編集して映像作品をつくるなどなどに使用しましょう。例えば、モータースポーツやスキーの映像を編集し、スローモーション映像を作成する場合などです。設定できるフレームレートは解像度によって異なります。被写体や撮影状況に応じてフレームレートと解像度のバランスを調整して撮影しましょう。

30fps



フレームレートが30fpsの場合、60fpsの半分のコマ数になります。

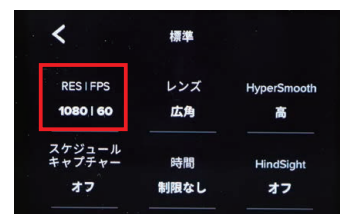
60fps



30fpsの倍のコマ数になるので、動きがなめらかになります。

本体の操作手順

1 [FPS] を選択



撮影画面下部の[撮影設定]から設定画面を開き、[RES | FPS]をタップします。

2 選択



下部に表示されているフレームレートの中から、任意のフレームレートをタップします。

アプリの操作手順



プレビュー画面下部の[撮影設定]から設定画面を開きます。[フレーム/秒]をタップして任意のフレームレートを設定します。

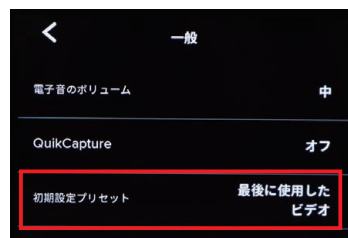
section
36電源オン時の
撮影モードを決める

GoProを起動した際の撮影モードは[初期設定プリセット]で決めることができます。[最後に使用]では電源を切る直前に使用していた撮影モードのプリセット、[最後に使用したビデオ]

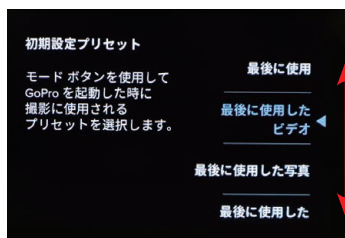
[最後に使用した写真][最後に使用したタイムラプス]では各撮影モードで直前に使用していたプリセットが起動時の撮影モードとなります。よく使う撮影モードに設定しておくことで、よりスムーズに撮影に入れます。

本体の操作手順

① [初期設定プリセット]を選択 ② 選択

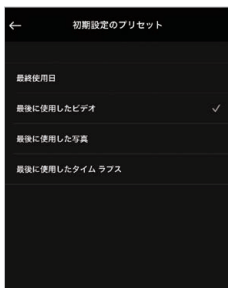


撮影設定で上から下にスワイプし、左にスワイプ(HERO9のみ)して[ユーザー設定]をタップします。[一般]の[初期設定プリセット]をタップします。



起動した際に選択されるプリセットを選択してタップします。

アプリの操作手順



プレビュー画面右上の[カメラのユーザー設定]から設定画面を開きます。[初期設定のプリセット]をタップして起動した際に選択されるプリセットを選択します。

section
37

日付・時刻をセットする

GoProの日付と時刻は最初に起動した際の初期設定で設定しますが、それ以降も設定可能です。また[Quik]アプリを使えば、スマートフォンの時刻をGoProに反映させることができます。撮影日時は撮影データと一緒に記録されるので正しく設定しましょう。

ば、スマートフォンの時刻をGoProに反映させることができます。撮影日時は撮影データと一緒に記録されるので正しく設定しましょう。

本体の操作手順

① [時刻][日付]を選択 ② 設定



撮影設定で上から下にスワイプし、左にスワイプ(HERO9のみ)[ユーザー設定]をタップします。[一般]から[時刻](HERO8では[時間])もしくは[日付]をタップします。



[時刻]の設定は[午前][午後]で表すか[24時間]で表すかを選択し、時間の設定をします。[日付]は現在の日付を西暦から設定します。

アプリの操作手順



プレビュー画面右上の[カメラのユーザー設定]から設定画面を開きます。[日付と時刻の設定]をタップするとスマートフォンの日付・時刻の設定がGoProに反映されます。

section
38

ファイルを消去する

GoProに挿入しているmicroSDカードのデータを消去するにはいくつかの方法があります。本体では1ファイルずつ消去するか、メディア一覧から選択して複数消去する方法、も

しくはmicroSDカードをフォーマットしてすべてのデータを消去する方法があります。[Quik]アプリでは撮影した直近のデータを削除するか、microSDカードをフォーマットしてすべて消去することができます。

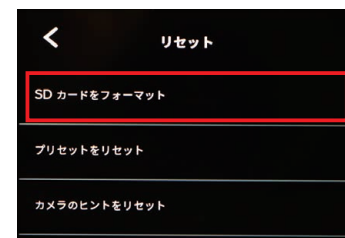
本体の操作手順

選択消去



撮影画面で下から上にスワイプして再生画面を表示し、左上のアイコンをタップします。右上のチェックアイコンをタップして消去したいファイルをすべてタップします。右上のゴミ箱アイコンをタップして消去します。

microSDカードをフォーマット



撮影設定で上から下にスワイプし、左にスワイプ(HERO9のみ)して[ユーザー設定]をタップします。[リセット]から[SDカードをフォーマット]をタップし[フォーマット]をタップします。

アプリの操作手順



[カメラのユーザー設定]から[最後のファイルを消去]をタップすると直前に撮影したファイルを、[SDカードからすべてのファイルを消去]をタップするとすべてのファイルを消去します。

section
39バッテリー残量・
SDカード容量を確認する

バッテリー残量とmicroSDカードの空き容量は撮影画面から確認できます。バッテリー残量は右上にアイコンとパーセンテージが表示されており、microSDカードの空き容量は左上に表示されます。microSDカードの空き容量は、ビデオ

モードの場合は残りの録画可能時間が表示され、写真モードの場合は残りの撮影可能枚数が表示されます。[Quik]アプリでは、microSDカードの空き容量に加えて、記録されているファイル数も確認できます。

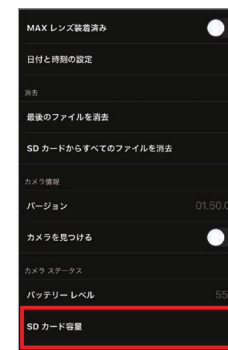
本体の操作手順

残量を確認



撮影画面の右上にバッテリー残量が、左上にmicroSDの空き容量が表示されます。

アプリの操作手順



プレビュー画面右上の[カメラのユーザー設定]から設定画面を開きます。[バッテリーレベル]でバッテリー残量を確認できます。[SDカード容量]をタップすると記録されているファイル数と残りの撮影時間・撮影枚数を確認できます。

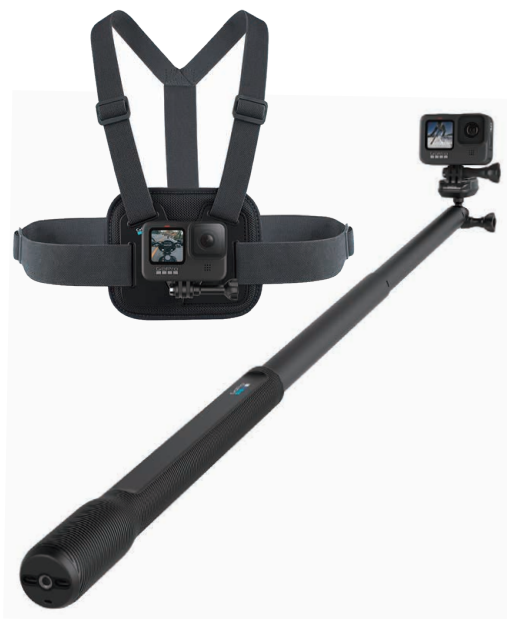
簡単操作で迫力の動画が撮れる、GoProの基本

GoPro は手のひらにおさまるサイズの小型アクションカメラです。操作はいたってシンプルですが、驚くほどぶれない高画質の動画や写真が撮影できます。GoPro は手持ちだけでなく、体や道具に取り付けて様々な角度から撮影できるのが魅力のひとつ。旅行やスポーツなど、目的に合わせて GoPro を固定するマウントやアクセサリーを選べば、撮影の幅がより広がります。

動画、写真、タイムラプスでの撮影のほか、プリセットから連写やナイトフォト、スローモーションなどの設定もでき、スマートフォンと連携すると、リモート操作や画像の転送なども簡単。後で編集ソフトを使って迫力ある作品に仕上げるができます。ここでは撮影から仕上げまでの流れをご紹介します。

Step 1 撮影に最適なマウントを選ぶ

撮影するのは旅先か、サーフィンか。街中か、バイクに乗るか。GoPro だとこのどれもが撮影できますが、どこに、どのように GoPro を取り付けるかが撮影の決め手となります。そのために GoPro をいろいろな場所に固定するためのマウントというアクセサリーが豊富に揃っています。マウントには、自分の胸に付けるもの、バイクのハンドルに付けるものなど多数あるので、状況に合わせて選ぶことがポイント。バイクでの走行シーンを撮るなら、GoPro を胸に付ける Chesty やヘルメットに取り付けるヘルメットマウント、サーフィンならボードに取り付けるサーフボードマウントがあり、用途や目的に合わせて使い分けます。自撮り棒 3-Way や Shorty、延長ポール El Grande は、スポーツでも旅先でも使える便利なアクセサリーです。



Step 2 撮影に合わせた設定をする

GoPro ではビデオ、写真、タイムラプスでの撮影ができるので、撮りたいシーンに合わせて GoPro の記録画質の設定をします。動画撮影で大切なのは画質と動画のなめらかさ。ここでカギとなるのはフレームレートです。フレームレートとは、1 秒でどれだけのコマ数を記録するかの数値で、60fps であれば 1 秒間に 60 枚の画像で動画ができていることをあらわしています。バイクで走るなど動きの速い動画を撮るときは、fps の数値を高く設定すれば動画がなめらかになります。普通の動画なら 30fps や 60fps。120fps や 240 fps はスローモーション用になります。高画質だと鮮やかできれいな映像が撮影できますが、それだけ多くの容量を使うので撮影時間が短くなってしまうため、画質を落としてデータ容量をおさえたりします。

メイン撮影モード



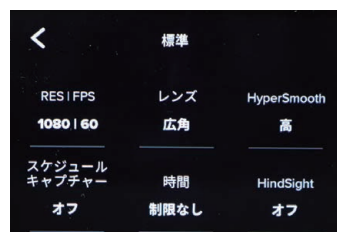
タイムラプス



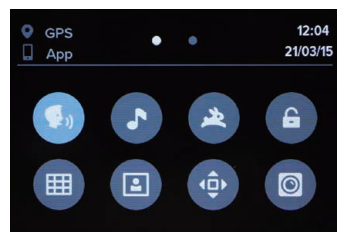
ビデオ



写真



ビデオの設定では解像度や画角などの設定ができ、Protuneではさらに細かな撮影に関する設定ができます。



撮影画面で上から下へスワイプするとダッシュボードが開き、音声コントロールや電子音などのオンオフが可能です。より詳細な設定をしたい場合は、ユーザー設定をタップします。

Step 3 便利な機能を使って撮影する

構図を決めたらいざ撮影ですが、カメラの操作は簡単、シャッターボタンを押すだけです。GoPro は Wi-Fi 通信に対応しているので、スマートフォンの Quik アプリと連携させて使うことをおすすめします。電源のオン、オフはもちろんですが、一番のメリットはリモート操作ができること。離れたところに GoPro を置いていても、スマートフォンの画面を使ってプレビューができるので、画像を確認しながら撮影ができます。撮影時の細かい設定もアプリから可能で、撮影した動画や画像をスマートフォンに取り込めば、後の編集作業もアプリで行えます。撮影した動画はスマートフォン

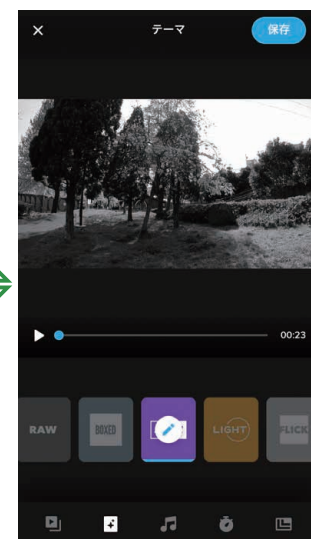
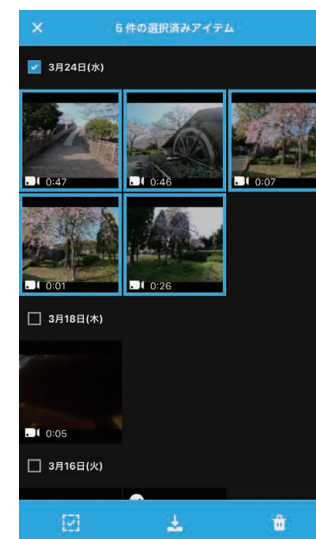


に保存してから、クラウドストレージやパソコンに転送して保存しておくで安心です。



Step 4 編集ソフトで仕上げる

GoPro で撮影した動画は、スマートフォンでもパソコンでも編集することができます。スマートフォンの場合は、撮影したらすぐに編集、Vlog や SNS などへのアップをその場で手軽に行うことができます。パソコンならば写真や動画編集用ソフトを利用することで、細かな作業をじっくり行うことができます。GoPro から提供されている「Quik」アプリでは、転送した動画を簡単に編集でき、動画へのテキスト挿入、再生スピードの変更、必要なシーンのトリミングなどが可能です。そのほかにも、フィルターや BGM の追加などの機能があり、必要に応じてタップするだけでアプリが自動で編集してくれます。テキストや音楽を入れて、おしゃれでオリジナリティのある編集をしてみましょう。Instagram や YouTube などの SNS に直接投稿できるので、ネットでの公開が目的の場合には便利です。



動画を Quik に取り込み、テンプレートを選んで編集します。

臨場感あふれる動きのあるショットを極める

相手の波乗りシーンを撮ります。バイトマウント (P.96) や GoPro に紐を付けたり、首にかけたりして瞬時に手に取れるように準備しましょう。GoPro を水に浮かせるためのアクセサリ Floaty (P.96) は必須 (紛失防止)。被写体と波の風景を撮るなら、広角レンズを活かして、臨場感のある写真を撮ります。GoPro なら、動きの激しいアクティビティでも、手ぶれなくその一瞬一瞬を逃しません。サーフィンはコンマ何秒

を争うスポーツなので、撮る側は、その一瞬を見逃さないようにカメラを素早く手に取り、シャッターを押す準備をしなければなりません。常に手で GoPro を持っていると、ボードとの接触や波を避けることが大変です。首にぶら下げたり、口にくわえたり、腕に付けたりと瞬時に撮影ができるように様々なマウントが用意されているので、自分にあったマウントを見つけることが大切です。



自然や、自分以外の写真を撮影。おすすめ設定は1080p/60fpsの広角。連写モードで。

》プロに負けない波のうねりや水しぶきを撮る

GoPro は小さく軽量なので、使い勝手は万能で水中ショットにも大人気。一眼レフカメラ+ハウジングのような重い機材を使用しなくても、十分プロ級の写真を撮ることができます。海の変わりゆく瞬間を捉えたいなら連写モード 10/1 秒の設定で撮影するのがおすすめ。1 秒間に撮影する枚数が多いと、適切なシャッ

ター速度にできず ISO 感度が高くなってしまい、ノイズが目立つことがあります。連写枚数を増やす場合は、撮影した写真が荒くないか確認しながら、徐々に連写レートを上げていきましょう。数回のシャッターで数十枚撮影が可能な設定にすることで、撮影した中に必ず気に入る 1 枚があるはずですよ。



ぐりと巻いたチューブ(巻き込んだ波)の中の様子を、一瞬で捉えることもできます。広角だからこそ臨場感が素晴らしい、まるでプロの写真家のような、そんな奇跡の1枚を狙えるはずですよ。



ADVICE

オリジナル豊かな作品はSNSをチェック

GoPro 愛用者は、常に試行錯誤しながら、オリジナリティ溢れるアングルやアイデア作品を狙って撮影しています。それらを SNS などでお披露目しているので、GoPro で何をどう撮ったらいいのか、お悩みでしたら、参考に見てみるのもいいと思います。

波のシーンのみならず、弾ける水しぶきなど、動いているものの瞬間をぶれなく捉えられます。GoPro の最新技術を使い、アイデア溢れる写真を撮ってみましょう。

愛犬が楽しんでいる姿を アングルを考えながら撮影

犬の動きは速く、よほどのしつけができていない限りどう動くかは予測ができません。お気に入りのおもちゃなどで一緒に遊びながら撮影します。

》水中に顔を突っ込む瞬間を撮影

犬の喜びそうな場所で遊びながら、どんな映像が撮れそうかをイメージします。広いドッグランを走り回ったり川に入ったり、雪とたわむれたり、毎日の散歩では見られない姿を映像におさめましょう。犬は暑さが苦手なので、夏には涼しい水辺で思い切り遊ばせて、撮影チャンス待ちます。うちの愛犬は石を投げると追いかけてキャッチするのが大好き。川遊びでも同じなので、石を水中に投げこむ場所にカメラを入れ、水

中に顔を突っ込む瞬間を撮影しました。タイムラプス、間隔 0.5 秒で撮影しています。GoPro は本体自体が防水仕様になっており、水深 10m までなら保護ハウジング+防水ケースなしで水の中に入れても OK。写真のような川遊び程度なら、ハウジングなしでも大丈夫です。水中撮影はぶれやすくなるので、撮影は天気の良い日の明るい時間帯を選びます。

ADVICE

水の中で元気な 犬の表情をおさえる

ドームポートを使うと、水中と水上を同時に撮ることができます。川や海での水遊びにおすすめです。



水中に顔を突っ込んだり、泳いだり。水際に犬が見せてくれる表情を写し撮ります。

制作協力:@mamibeans

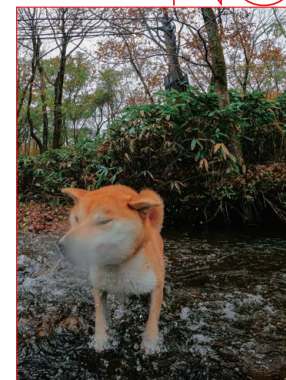
》自然の中ではしゃぐ、非日常の姿を撮る

まわりに人がいないのを確認してからリードを外し、水とたわむれる様子を撮影しました。天気がよかったのであえて太陽を入れ、電線や車など自然界にはない景色は入れない構図を選びます。縦位置のほうが犬の動きやまわりの景色が写って、迫力が出せます。自撮り棒、Shorty を持ちながら連写。水遊びを楽しむ雰囲気は伝えられるよう、手前から水をバシャバシャさせ

て動きを入れました。撮影する時は犬を見おろすのではなく、自撮り棒を使ったりしゃがんだり腹ばいになったりして、犬の視点にカメラの位置を合わせて撮ると、いい表情が捉えられます。水遊びをしている時、水しぶきが上がるのをスローモーションにしたい時は、フレームレートを高めの 120fps に設定するときれいなスローモーション映像にできます。



なめらかな動きの映像なら 60fps 以上の設定で。フレームレートを上げると、後で写真を切り出す時もやりやすくなります。



レンズに水滴が付いたまま撮ってしまうと、付いた部分がぼやけたりゆがんでしまいます。レンズの水滴や汚れはこまめに拭き取り、きれいな状態で撮影します。

ADVICE

犬のいろいろな表情を犬視点で撮る

GoPro を装着できる延長ポールつきの自撮り棒、Shorty (ショーティー) は犬撮影に便利な定番アイテム。犬と一緒にセルフイー撮影はもちろん、ハンドグリップ、三脚として使うなど、様々な場面で活躍します。



section
02

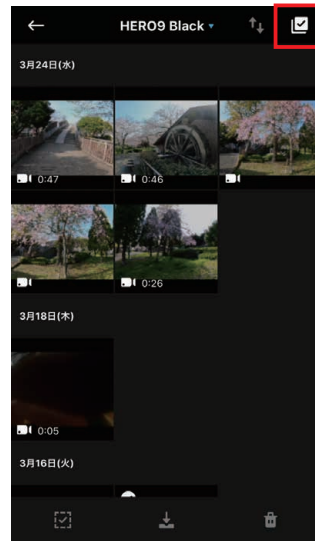
Quikで動画を編集しよう

Quikを使えばスマートフォンやタブレットで動画を簡単に編集できます。効果の異なるテンプレートがいくつも用意されているので、自分好みの効果と音楽を加えて素敵な作品に仕上げましょう。簡単におしゃれな作品が仕上がるので、撮影したあとすぐに動画を編集したい場合に便利です。

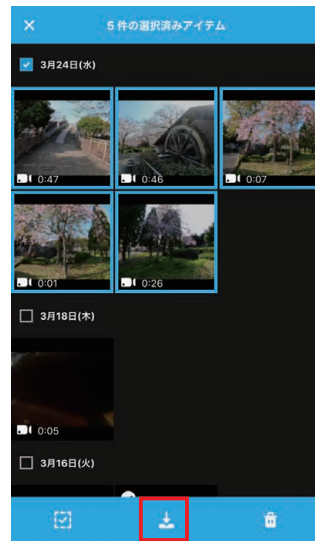
Step 1 Quikに動画を転送して選択する



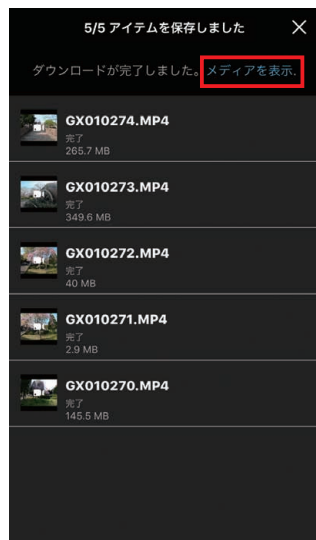
1 GoProをQuikに接続し、左下のメディアアイコンをタップします。



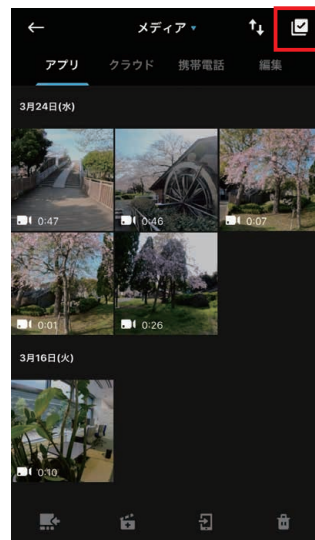
2 GoPro内にあるメディアが一覧で表示されます。右上の[✓] (チェックマーク) をタップします。



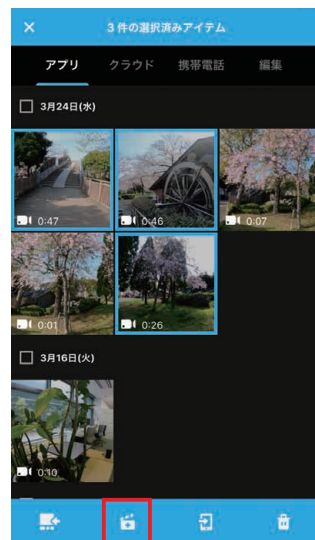
3 Quikに転送する動画をすべてタップして、下のダウンロードアイコンをタップします。



4 動画のダウンロードを開始します。完了したら[メディアを表示]をタップします。



5 転送した動画が表示されます。右上の[✓] (チェックマーク) をタップします。

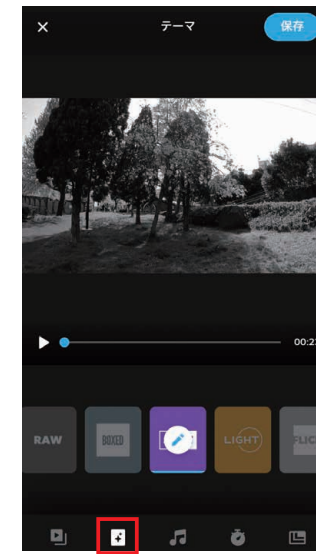


6 編集する動画をタップします。下部の左から2番目のアイコンをタップして動画編集に移ります。

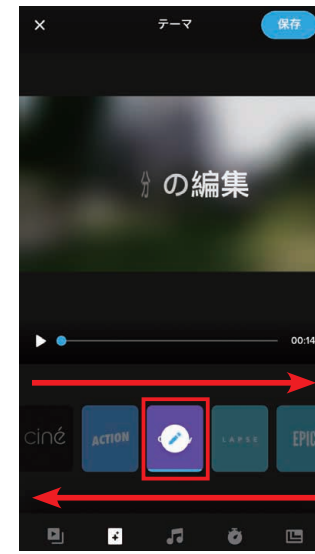
Step 2 テンプレートを選択する

動画を読み込んだらテンプレートの選択をしましょう。Quikにはたくさんのテンプレートが用意されています。それぞれ映像の効果や演出が異なるので、好みの

テンプレートを選びましょう。フォントとグラフィックを変えることもできます。



1 下部の左から2番目のテンプレートアイコンをタップします。



2 動画の下に表示されるテンプレートをスライドして選びます。タップするとそのテンプレートで作成された動画が再生されます。

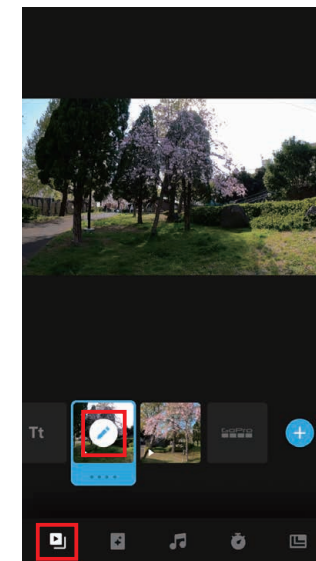


3 ペンアイコンをタップすると、フォントとグラフィックを選択できます。タップで選択し、[✓] (チェックマーク) で決定します。

Step 3 クリップを編集する

動画を読み込むと自動的にクリップが作成され、詳細な編集を行えます。スワイプで編集したいクリップを

選択すると編集モードになります。ペンアイコンをタップすると、クリップごとの編集が行えます。



下部の1番左のクリップアイコンをタップします。編集したいクリップのペンアイコンをタップすると各種編集ができます。ここから詳しく解説します。

[✓] タイトルを入れる



1 1番左のテキストクリップを選択して[テキスト]をタップします。



2 タイトルとなる任意のテキストを入力して[✓] (チェックマーク) をタップします。

Maxレンズモジュラー

HERO9に装着できるMaxレンズモジュラー。視野角がさらに広角になる[Max SuperView]や、2.7Kまでのビデオのブレを強力に補正する[Max HyperSmooth]が使用できるようになります。そして[水平ロック]をオンにすることで、カメラを傾けてマウントしたり360回転したりしても動画を水平に保つことができるのが最大の特徴です。



HERO9のレンズカバーを外すことで取り付けられます。

》取り付け方

① レンズカバーを外す



GoProのレンズカバーを回して外します。回しにくいときは前に引っ張りながら回すと外しやすいです。

② Maxレンズモジュラーをレンズに合わせる



Maxレンズモジュラーの溝とレンズの横の出っ張りを合わせます。

③ Maxレンズモジュラーをはめる



Maxレンズモジュラーをレンズにはめます。

④ 回して固定する



Maxレンズモジュラーを90度回転させて固定します。

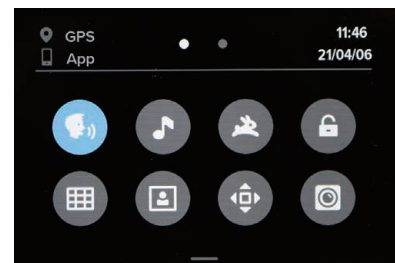
》Maxビデオで撮影する

Max レンズモジュラーを取り付けたら GoPro の設定を Max レンズモードにします。ダッシュボードから設定を変えることができます。解像度は 2.7K まで選

択可能。[Max SuperView] や [Max HyperSmooth] [水平ロック] を有効にすることで、Max レンズモジュラーの魅力を最大限に引き出すことができます。

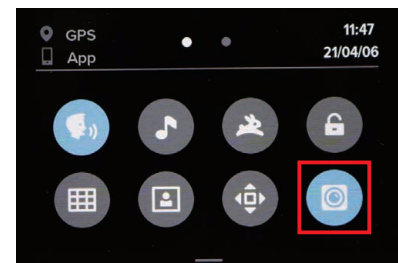
Max レンズモードにする

① ダッシュボードを表示する



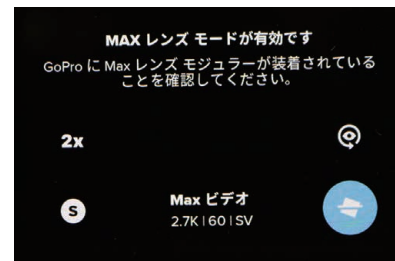
撮影画面で上から下にスワイプします。

② レンズアイコンをタップする



右下のMaxレンズモジュラーアイコンをタップします。

③ Maxレンズモードが有効になる



「Maxレンズモードが有効です」と表示が出てMaxレンズモードになります。

④ Maxビデオにする



撮影モードがビデオの場合、プリセットが[Maxビデオ]となります。他の撮影モードの場合は撮影モードをビデオにしましょう。

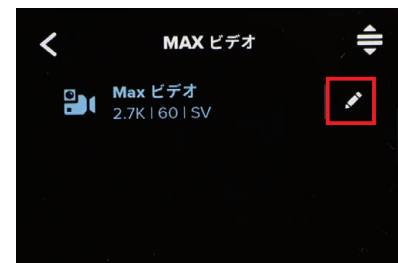
解像度とフレームレートを設定する

① 撮影設定をタップ



撮影画面下部の[撮影設定]をタップします。

② ペンのアイコンをタップ



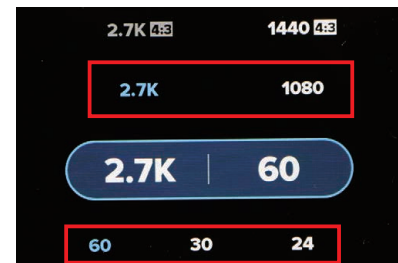
プリセット[Maxビデオ]の右にあるペンのアイコンをタップします。

③ [RES;FPS] をタップ



設定画面の[RES;FPS]をタップします。

④ 解像度とフレームレートを選択



解像度を[2.7K]か[1080]から選択します。フレームレートを[60][30][24]から選択します。